

第173回 全経簿記検定試験 上級 一原価計算一

模範解答

模範解答・予想配点・解説等は、学校法人高橋学園が独自の見解によって作成しており、検定試験実施機関における本試験の解答並びに出題の意図を保証するものではありません。なお、予告なしにその内容を変更する場合がございます。ご理解いただいたうえで、ご利用ください。

問題1〔丸数字は予想配点、合計73点〕

問1

1,200 円/k1 ⑥

問2 (単位:円)

	原料事業部	薬品事業部	全社
売上高	(6,580,000)	(④ 23,220,000)	(25,000,000)
変動費	(2,800,000)	(12,920,000)	(④ 10,920,000)
(貢献利益)	(④ 3,780,000)	(10,300,000)	(14,080,000)
個別固定費	(3,200,000)	(5,600,000)	(8,800,000)
事業部利益	(④ 580,000)	(④ 4,700,000)	(④ 5,280,000)
本社費			(1,820,000)
全社利益			(④ 3,460,000)

問3

	損益分岐点売上高	計算過程
ケース1	④ 18,856,534 円	10,620,000 円 ÷ 56.32% = 18,856,534 円 ①
ケース2	④ 19,175,459 円	10,620,000 円 ÷ 55.38...% = 19,175,459 円 ①

問4 (有利・不利)は適切なほうに○をつけなさい。

- (1) 原料事業部にとっては、基礎原料の外部販売より内部引渡しのほうが、1k1 当たり(580)円だけ (有利) **(不利)** である。【完答で③点】
- (2) 全社的には、基礎原料の外部販売より内部引き渡しのほうが、1k1 当たり(1,995)円だけ **(有利)**・不利) である。【完答で③点】

問5 結論の(原料・薬品)は適切なほうに○をつけなさい。

事業部	残余利益	計算過程
原料事業部	③ -710,000 円	580,000 円 - 8,600,000 円 × 15% = -710,000 円 ①
薬品事業部	③ 1,900,000 円	4,700,000 円 - 14,000,000 円 × 20% = 1,900,000 円 ①

結論：(原料) **(薬品)** 事業部の収益性が高い。

問6

原料事業部の内部振替価格が総原価基準により、利益を付加していないため、本来の収益性を無視しているためである。 ㉓

問7

外部販売の場合と同じ、市価によって振り替えることで、本来の収益性を表すことができる。 ㉔

結論の(原料・薬品)は適切なほうに○をつけなさい。

事業部	残余利益	計算過程
原料事業部	㉓ 1,610,000 円	2,900,000 円 - 8,600,000 円 × 15% = 1,610,000 円 ㉑
薬品事業部	㉓ -420,000 円	2,380,000 円 - 14,000,000 円 × 20% = -420,000 円 ㉑

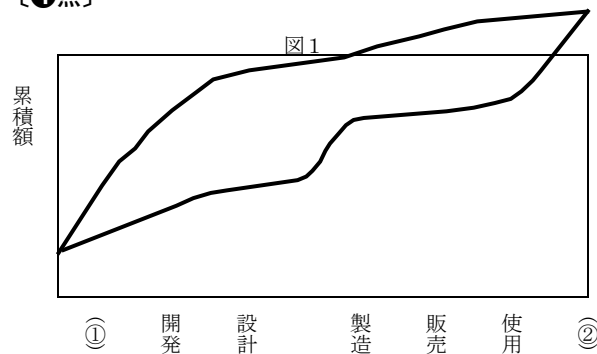
結論：(原料)・薬品)事業部の収益性が高い。

問題2 [丸数字は予想配点、合計 27 点]

問1

①	企画	㉓
②	廃棄	㉓
③	トレード・オフ	㉓
④	販売価格	㉓
⑤	ユーザー(購買者)	㉓

問3 [㉔点]



問2

製品ライフサイクルが進めば進むほど原価低減の余地がなくなるため、企画・開発段階での目標原価を作りこむことをいう。 ㉕

問4

環境汚染対策などにかかる環境コスト ㉓